



施設整備基本方針

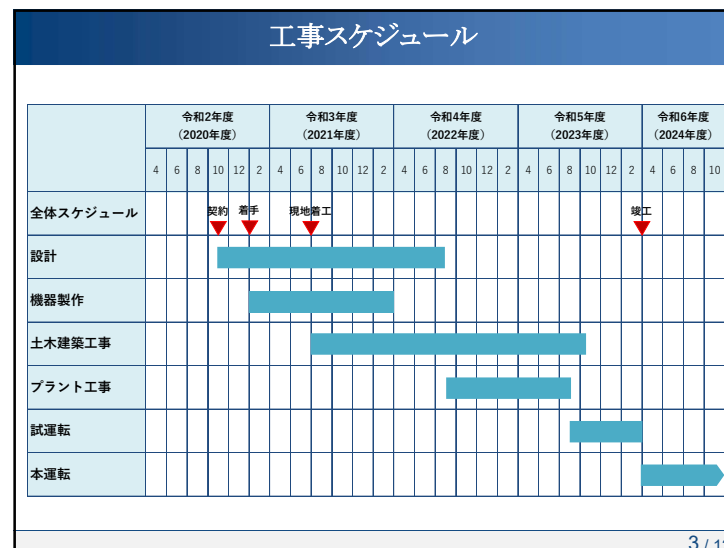
- 安全、安心な施設**
 - 焼却技術が完成されており、その成熟度が高いこと。
 - 廃棄物処理施設として採用実績が多いこと。
- 安定的に処理できる施設**
 - 操業が安定して行われている実績があること。
 - 作業者の負担ができる限り少ないこと。
 - 処理残渣の処分方法が安定的に確立されていること。
- 環境にやさしく、環境を学べる施設**
 - 法的基準の遵守はもとより、公害防止機能が優れていること。
 - 環境教育に関する施設、設備を備えることができること。
- 経済性に優れた施設**
 - 建設費が高価とならないこと。
 - 運営管理費が高価なものとならないこと。

1 / 12

工事概要

- 工事名称 **新可燃ごみ処理施設整備事業**
- 建設地 **茨城県神栖市東和田21-3地内**
- 処理能力 **230t/日 (115t/24h×2炉)**
- 施設区分 **エネルギー回収型ごみ処理施設**
- 施工者 **三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)**
- 事業期間 **令和2年10月27日から令和6年3月31日まで**

2 / 12

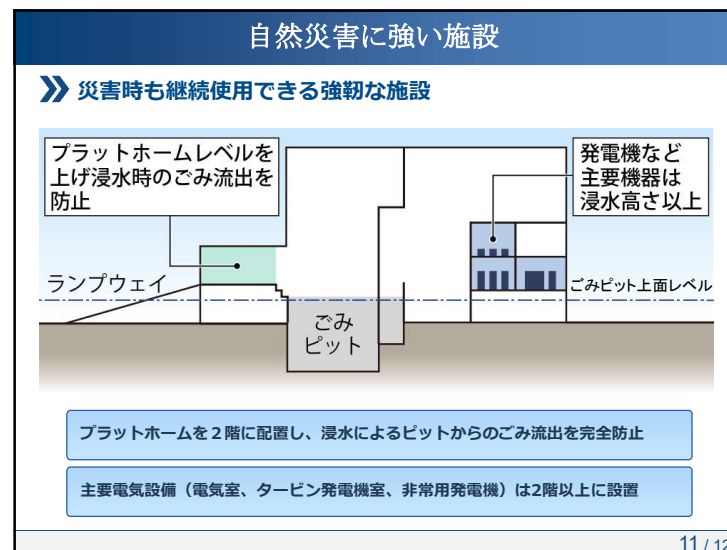


安全・安心な施設

▶▶ 排ガス基準値からの上乗せ保証で施設公害防止基準を確実に遵守

物質名 (O ₂ =12%)	性能保証	排ガス基準値
ばいじん(g/Nm ³)	0.005	0.01
硫黄酸化物(ppm)	25	30
窒素酸化物(ppm)	45	50
塩化水素(ppm)	45	50
一酸化炭素(ppm(4h))	25	30
ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	0.03	0.05
水銀(μg/Nm ³)	30	30

8 / 12



工事中における地域環境への配慮(騒音・振動)

実績に基づいた騒音・振動・粉じん対策により周辺環境への影響を抑制

- 深層混合処理工法の機械攪拌による地盤改良杭とすることで、杭打機単独での施工となり重機台数の削減により、騒音・振動を抑制します。
- 建設機械には、低騒音・低振動型を使用します。使用頻度の高いバックホーについては超低騒音型を使用します。
- 車両通路に、セルダンパー防振マットを敷鉄板の下に設置します。



地盤改良杭

